

令和 5 年度 第 3 回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

日 時：令和 5 年 9 月 27 日(水) 16:05 ~ 16:55

場 所：琉球大学病院がんセンター(ZOOM 会議)

出席者 9 名：野里栄治(北部地区医師会病院)、屋良尚美(県立中部病院)、中村清哉(琉大病院)、
中島信久(琉大病院)、安次富直美(琉大病院)、足立源樹(那覇市立病院)、三浦耕
子(県立中部病院)、川満博昭(県立宮古病院)、水嶋美菜子(沖縄県健康長寿課)
欠席者 4 名：笹良剛史(豊見城中央病院)、酒井達也(八重山病院)、名嘉真久美(がん患者会連
合会)、増田昌人(琉大病院)
陪席者 2 名：有賀拓郎(琉大病院)、玉城由奈(琉大病院)

※本日、豊見城中央病院の笹良委員が業務の都合により欠席となったため、北部地区医師会病
院の野里委員が司会を担当することとなった。

報告事項

1. 令和 5 年度 第 1 回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

資料 1 に基づき、令和 5 年度第 1 回緩和ケア・在宅医療部会議事要旨の報告があり承認
された。

2. 令和 5 年度 緩和ケア・在宅医療部会、在宅WG、研修WG 委員名簿

資料 2 に基づき、各委員の名簿について報告があった。

協議事項

1. 令和 5 年度 緩和ケア・在宅医療部会 委員の選任について

資料 2 に基づき、今年度はそのままのメンバーで継続し、来年度からは委員の若返りを図
るために来期に向けて考えていくとあった。

2. ロジックモデルを用いての今年度の事業計画について

増田委員が欠席の為、資料 3 に基づき、今年度の年間計画についての協議内容の確認があ
った。初期アウトカムが、緩和ケアに 3 項目、在宅医療に 2 項目あり、それを達成するた
めに部会として具体的にどのようなことをするべきかについて、案の提出方法や期日等の詳細
を後日、増田委員へ確認し、メールにて連絡することとなった。

3. 痛みのスクリーニングとモニタリングデータ抽出について

有賀先生より、この部会で議論することについて相談があった。オリジナルで冗長な毎日
の評価は大変なので、標準ツールを作成し全病院へ展開すると考えていましたが、現状は、
標準ツールの部分にいけない状態。今後もそのような報告になると思うので、この部会で
引き続き協議する必要があるのか、とのことだった。

中島委員より、痛みのツールを汎用性のあるものを作成するのであれば協議する必要はあ
る。新規に作成する以外に、既存のツールを用いるなどして、県全体で負担なく使用でき
るようにするのが良いと思う。

野里委員より、県全体で汎用して使えるツールを作成することを目標に協議を行ってい
きたいとあった。

有賀先生より、標準ツールを作成するは賛成ですが、各病院で重さが違うとなると、県の
ツールと自院のツールの 2 種類になってしまい、実施主体の看護師が大変になると思う。こ

の協議会でどこに着地点を持っていくかゴールと一緒に整えながら現場の負担も考えないといけないとあった。

中島委員より、都道府県の拠点、地域の拠点が同じものを利用することが望ましい。それが難しいのであれば、病院や在宅などで標準(共通)ツールがないため、それぞれ診ている所や表現の違いがあることを考えると、すべての病院とはならなくとも、例えば80%くらいの病院や在宅、訪問看護などで共通して使いやすいツールを1つ部会から提案し、それを普及させていくだけでも、今までバラバラだったものから1つのひな形が出来ることになるので意味があると思う。まずは、この部会の委員で、どの方向でひな形を作成するかどうか協議し、作成するなら何を使用するのかという風にステップを踏んで進めていくのが良い。具体的なツールというと世間ではSTASとかIPOSがあり、信頼性、妥当性、有効性が検証されているので、この委員のメンバーで使用し、それぞれ感触を知って、それをベースに議論して作っていくのも良いのではないか。ツール開発を学会やキングスカレッジと一緒にやっていたので導入のノウハウなどのお手伝いできる。また、1ヵ月後に緩和ケアのWEBサイトを立ち上げ、そこにもアセスメントツールのe-learningもあるので、その資料をもとに内容を理解し、それを元に議論をしても良いのではないかと提案があった。

野里委員より、医師会の病院でも緩和ケアの認定看護師さんとも共有して、まずはある程度の期間、取り組んで様子を見てみたいとあった。

有賀先生より、IPOSの7日版を各病院であまり忙しくない曜日に設定し、評価するのが基礎となるのではないか。毎日評価するより間隔を開けて評価していくのが現場の負担も減り、ジェネリックのバランスが整うのではないかとあった。

野里委員より、スクリーニングの件はもう少し続けていただきたいと思うので、次回も有賀先生のところから何か発言していただけますかとの問いに、有賀先生より、琉大メンバーの現状を出すだけでなく、県の提案という視点で話が出るように準備させていただきますと回答があった。

野里委員より、中島先生のお話も踏まえながら次回の委員会までに各委員、院内で考えてもらい、そこで何か意見を聞きたい、とのことから次回も協議事項として取り上げていくこととなった。

4. 次回令和5年度第4回緩和ケア・医療部会の日程について

令和5年12月頃、15:00~17:00の間で1時間予定し、がんセンターにてスケジュール調整することとなった。

5. その他

特になし

報告事項

3. 第4次沖縄県がん対策推進計画(協議会案)について

資料4に基づき、議長(琉大病院長)が、沖縄県庁にて保健医療部長を介して、沖縄県知事に提出、提案したと報告があった。

4. 令和5年度 緩和ケア・在宅医療部会 第1回在宅ワーキング 議事要旨

資料5に基づき、令和5年度第1回緩和ケア・在宅医療部会 在宅ワーキング議事要旨が承認された。

5. 令和5年度 緩和ケア・在宅医療部会 第1回研修ワーキング 議事要旨

資料 6 に基づき、令和 5 年度第 1 回緩和ケア・在宅医療部会 研修ワーキング議事要旨が承認された。

6. 緩和ケア研修会開催日程一覧表

中村委員より、資料 7 に基づき、今年度は第 10 回まで決定しており、第 1 回と第 2 回は終了したと報告があった。

7. 令和 5 年度 緩和ケア研修会の報告書について

【琉球大学病院】

中村委員より、資料 9-1 に基づき、琉球大学病院主催第 1 回沖縄県緩和ケア研修会 2023 (9 月 3 日(日)開催)について、今回も ZOOM を用いての WEB 開催をした、と報告があった。多くの参加人数を対応できるので、当面は WEB で開催する。また、WEB 開催をご検討中の病院がありましたら、ご協力できることも多いと思いますのでお気軽にご相談くださいとあった。

野里委員より、対面での研修よりも ZOOM での研修の良い点と、必要な機材についての質問があった。

中村委員より、ZOOM での研修の良い点は、ロールプレイは、各ブレイクアウトルームへ移動するので集中でき、現地で行うより深い話ができる。ただ、一方では他の参加者の顔が見えないので希薄になる。必要機材としては、パソコンと一般的なネット環境があれば大丈夫。有線は何台あっても良いが、無線は数が多すぎると通信速度が遅くなるので、そこは注意しないといけない。また、運営側としては、ファシリテーターの掛け持ちが出来ない為、人数が必要になる。やはり、メリット・デメリットはあると回答があった。

【那覇市立病院】

足立委員より、資料 9-2 に基づき、那覇市立病院主催第 2 回沖縄県緩和ケア研修会 2023 (9 月 9 日(土)開催)について、主催責任者は血液内科の内原先生で、欠席者もなく、感染対策も問題なく終了した、と報告があった。以前はグループワーク等でスマートフォンを用いて調べるといことが問題となっていたが、現在、受講生は若者ばかりで、どこでもスマートフォンで検索するのが当たり前になっていることから許容することとなった。

8. 第 3 回沖縄緩和ケア研究会学術集会について

中島委員より、資料 8 に基づき、10 月 9 日(月/祝)に開催される「第 3 回沖縄緩和ケア研究会学術大会」について報告があった。対面で開催する。午前中に一般演題と要望演題が 16 演題あり、午後にシンポジウムがあります。お時間のある方はぜひご参加くださいと依頼があった。

足立委員より、案内のチラシでは単位を申請できるものとして 3 つ記載があったが、実際には緩和薬物療法認定薬剤師のみ 1 単位ということになったと報告した。

9. 2023 年度緩和ケアおよび精神腫瘍学の基本教育に関する指導者研修会について

笹良委員が欠席の為、資料 10 の確認を行った。

中島委員より、今回は参加費が無料となっており、有益なものになっている。以前に受講したが、悪い知らせを伝えるためのロールプレイでは、濃密に行うので良かったとあった。

10. その他

特になし

以上

令和5年度第3回緩和ケア・在宅医療部会 研修ワーキング 議事要旨

日 時：令和5年11月22日(月)16:00~17:20

場 所：ZOOMによるWeb会議

出席者11名：安座間由美子（県立中部病院）、足立源樹（那覇市立病院）、中村清哉（琉大病院）、野里栄治（北部地区医師会病院）、新里誠一郎（浦添総合病院）、笹良剛史（豊見城中央病院）、西原実（ハートライフ病院）、友利健彦（沖縄赤十字病院）、新屋洋平（西崎病院）、神山佳之（南部医療センター・こども医療センター）、増田昌人（琉大病院）

欠席者5名：川満博昭（県立宮古病院）、酒井達也（県立八重山病院）、久志一朗（沖縄病院）、林正樹（中頭病院）、水嶋美菜子（沖縄県健康長寿課）

陪席者1名：玉城由奈（琉大病院）

報告事項

1. 令和5年度 第2回沖縄県緩和ケア・在宅医療部会 研修ワーキング議事要旨
資料1に基づき、令和5年度第2回緩和ケア・在宅医療部会研修ワーキング議事要旨の報告があり、承認された。
2. 令和5年度 第2回緩和ケア・在宅医療部会 在宅ワーキング議事要旨
資料2に基づき、令和5年度第2回緩和ケア・在宅医療部会 在宅ワーキング議事要旨の報告があった。
3. 令和5年度 第3回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨
資料3に基づき、令和5年度3回緩和ケア・在宅医療部会議事要旨の報告があった。
4. 令和5年度 緩和ケア・在宅医療部会委員名簿一覧
資料4に基づき、委員の変更はないと報告があった。
5. 令和5年度緩和ケア研修会の報告について
 - (1) 琉球大学病院【第1回 2023年9月3日(日)】
資料5-1に基づき、中村委員より報告があった。今回で4回目のWEB開催のため、コツや問題点が分かってきたので、大きな問題もなく無事に開催できた。
良い点：たくさん受講生が受講できること。
問題点：グループワーク時にファシリテーターの人数を要すること。
 - (2) 那覇市立病院【第2回 2023年9月9日(土)】
資料5-2に基づき、足立委員より、問題なく開催が出来たと報告があった。産休で受講できなかった受講生については、受講率のカウントはどうなるのとの質問に、増田委員より、がん患者を診ているスタッフは受講するとなっているため、お休みしている先生は分母から外してよいと回答があった。
 - (3) 沖縄県南部医療センター・こども医療センター【第3回 2023年10月7日(土)】
資料5-3に基づき、神山委員より、ロールプレイが楽しくでき、好評だったと報告

があった。事前ミーティングを2回行ったことで良い研修会ができたが、それに参加できなかったところは時間調整がうまくいかないトラブルがあり、反省点とあった。また、質問として、緩和ケア研修会は非がんの方へも提供しているとあるが、研修会の様子から、がん患者に対するところが大きいイメージがあったことから、他施設では非がんの患者さんへも提供していることをどのように伝えているのかとあった。

中村委員より、以前はプログラムに「緩和ケアの総論」があったが、現在はなくなっているの、それに代わって行うとしたら、e-learning の復習と質問の講義へスライドを1枚入れて話すのも良いかもと提案があった。

笹良委員より、心不全のための緩和ケアのプログラムで HEPT というのがありますと情報提供をするのも良いかもと提案があった。

<https://hept.main.jp/>

(4) 沖縄県中部病院・沖縄県八重山病院（共催）【第4回 2023年10月14日(土)】

資料5-4に基づき、安座間委員より、欠席や3名のうち2名がe-learningの受講が間に合わず、受講できなかったと報告があった。今回は看護師2名の参加があり、ドクター以外の職種が入る事でいろんな意見があり、グループワークは盛り上がった。今後の課題としては、研修生がしっかり受講できるように環境への配慮が必要なのと、もっと多職種の方が参加できるように考えていきたいとあった。また、質問として、全ての研修医を受講させるのがスケジュール的に難しいところがありますが、琉大病院ではなにか工夫されていることはあるかとあった。

中村委員より、近年では臨床研修センターが周囲への周知や参加を促すなど協力してくれている。ただ、臨床経験が少ない先生が多いため内容が薄くなってしまいうので、ファシリテーターの先生方がグループワークやロールプレイの時に見回り、そこで助言をするという対応をしていると回答があった。

協議事項

1. 令和5年度 緩和ケア研修会の開催について

安座間委員より、資料6に基づき、緩和ケア研修会の開催について報告があった。浦添総合病院は今年、病院移転のため緩和ケア研修会の開催はないとのことだった。

2. 令和5年度 緩和ケアフォローアップ研修会の開催の是非について

増田委員より、緩和ケアフォローアップ研修会を今後開催するか、開催するとした今年度もしくは次年度開催するかの皆さんのご意見を伺いとあった。

【委員の皆さんからのご意見】

- ・受講対象者や受講内容の選定のため、受講のニーズ調査等を行いたい
- ・受講者と開催側の両方が実になる研修会にしたい
- ・受講内容のレベルアップの必要がある

以上のことから、準備期間が不足しているため今年度の開催は行わず、次年度以降の開催については次回、検討することとなった。

3. 次回令和5年度第3回緩和ケア・在宅医療部会 研修ワーキングの日程について

2024年2月上旬頃の予定で、がんセンターにてスケジュール調整することとなった。

4. その他

特になし。

報告事項

6. 令和5年度地域緩和連携ケア連携調査員フォーラムの開催について

増田委員より、資料8に基づき、研修会の情報提供があった。締め切りが11月30日のため、ご興味のある方は早めに事務局へご連絡下さいとあった。

7. 第7回日本GRACE研究会年次大会について

笹良委員より、来年3月末に奈良県にて開催されると報告があった。詳細については分かり次第、後日お知らせしますとのことだった。

8. 日本緩和医療学会 第5回および第6回 九州支部学術大会について

笹良委員より、資料9に基づき報告があった。第5回は現地開催で九州の先生方が参加し、講演やディスカッションが盛んに行われた。第6回の開催形式はまだ決まっていないが、同時期に宮崎県で開催されるのでご興味のある方はぜひご参加下さいとあった。

9. リレー・フォー・ライフ・ジャパンおきなわ2023について

笹良委員より、資料10に基づき報告があった。あいにくの雨だったが、がん患者さんやがんサバイバーの方たちが集り、ディスカッションや講演などのイベントが行われた。フラットな状態でお話しができるいい機会であるとあった。

9. その他

増田委員より、「サイコオンコロジー学会」について報告があった。がんセンター主催で再来年9月ごろ、2000人規模を想定してコンベンションセンターにて開催を予定している。このワーキングメンバーの皆さんへも協力依頼をしますので、一緒に沖縄らしい開催を考えていただけるとあった。

笹良委員より、「がん患者のQOL向上を目指したコミュニケーション技術研修会(CST)」の案内があった。コミュニケーションスキルトレーニングを受けたことのない先生方に特におすすめしており、2日間で8回ロールプレイを行い、割とハードワークではありますが勉強になる。ただ、今年度は応募者多数により申込終了となりましたが来年度もあるのでは、ぜひ若手の先生へ受講するよう推奨して頂けるとありがたいと依頼があった。

<http://www.share-cst.jp/03.html>

笹良委員より、「研修指導者講習会（現行制度での認定医対象）」の案内があった。緩和医療の認定医と専門医が移行時期となっており、認定医が指導できるための研修会が12月1日から1月16日の間でオンデマンドでのオンライン研修がある。この研修会を受講しないと指導者になれないという決まりがあるので認定を取られている先生は受講の検討をお願いしますとのことだった。

<https://www.jspm.ne.jp/specialistCertification/instructorClass/index.html>

以上

第3回沖縄県がん診療連携協議会緩和ケア在宅医療部会 在宅ワーキング議事要旨

日 時：令和5年11月29日（水）16：30 ～ 18：00

場 所：ZOOM（WEB会議）

出席者：9名 高江洲あやこ（那覇市医師会）、東恩納貴子（那覇市立病院）、朝川恵利（宮古病院）、大城梨沙（北部地区医師会病院）、笹良剛史（豊見城中央病院）、新屋洋平（西崎病院）、宮城愛子（訪問看護ステーションアレグリア）、仲門文子（沖縄県介護支援専門員協会）、増田昌人（琉大病院）

欠席者：6名 喜納美津男（きなクリニック）、金城隆展（琉大病院）、長野宏昭（いきがい在宅クリニック）、崎原友美子（八重山病院）、荷川取尚樹（花あかり合資会社）、崎辰子（那覇市役所）

陪席者：1名 玉城由奈（琉大病院）

報告事項

1. 令和5年度 第2回緩和ケア・在宅医療部会在宅ワーキング議事要旨
資料1に基づき、令和5年度 第2回緩和ケア・在宅医療部会在宅ワーキング議事要旨が承認された。
2. 令和5年度 第2回・第3回緩和ケア・在宅医療部会議事要旨
笹良委員より、資料2に基づき、令和5年度 第2回・第3回緩和ケア・在宅医療部会議事要旨の報告があった。
3. 令和5年度 第2回緩和ケア・在宅医療部会研修ワーキング議事要旨
増田委員より、資料3に基づき、令和5年度 第2回緩和ケア・在宅医療部会研修ワーキング議事要旨の報告があった。
4. 令和5年度 緩和ケア在宅医療部会（在宅WG・部会・研修WG）委員名簿一覧
高江洲委員より、資料4に基づき、今年度の委員の報告があった。

協議事項

1. 来年度の年間活動計画について
増田委員より、当日資料に基づき、初期アウトカムの指標、個別施策とその指標を委員の皆さんのご意見を頂きたいと依頼があった。

【委員の皆さんからのご意見】

≪個別施策≫

- ◎ 望んだ場所で過ごせたがん患者の割合が増加している
 - ・患者さんへ考えるきっかけとして、初めに一律のパンフレットで情報提供する
 - ・在宅医療についての説明時に患者さんにセットで渡せるようなパンフレット

- ・パンフレットを提供する対象を明確にする
 - ・カンファレンス内での在宅医療の働きかけ(チーム医療等)
 - ・広げるとA4用紙1枚のパンフレットで作成する
 - ・ドクターから手渡しすることで患者さんもご家族も見てみよう意識を持つ
- ◎ 在宅で亡くなったがん患者の医療に対する満足度が向上している
- ・カンファレンスの充実
 - ・在宅医療と母体病院、訪問看護とのカルテの共有(セキュリティーの問題あり)
 - ・退院前のカンファレンスで在宅チーム側との情報共有
- ◎ 在宅医療を提供できる必要な資格を持った専門家を計画的に養成し、必要に応じて配置できる
- ・在宅医療を提供できる施設の種類とか必要な数等について公表する内容や対象者を議論してホームページへ載せる
 - ・在宅医療を提供できる専門家の種類、必要な数等は、県医師会および地区医師会と情報を擦り合わせて公表する。また、データベースを利用して職種ごとに公表できるとよい。
- ◎ 看取りが出来る看護施設の拡大ができています
- ・エンジェルケアや看取りにあたっての介護職のメンタルヘルス等の研修会
 - ・看護協会と協力して看護師と一緒にできる講話等の企画
 - ・相談ルートの確立。訪問看護や介護施設等からの相談を受付ができるような相談ルートがあると安心して介護施設で看取りができる
 - ・有料介護施設では、いざという時に何かあっても具体的なことが分からない為、看取りはできないということが多々あり、どこに繋げるかというのがとても大変
 - ・新しい施設へどうやって看取りを進めていくか
 - ・各施設で行っている研修会や活動を公表し、共有することで認識を高める

2. ケア・カフェについて

高江洲委員より、資料6に基づき、ケア・カフェのグループテーマが「支援から共同意思決定へ～専門家に考えてほしい～」に決まったと、報告があった。現在、申込者の職種に偏りがあるため、医師の方への声かけの協力依頼があった。また、委員の皆さまへファシリテーターとしてのご協力依頼および、事前打合せへの参加の依頼があった。事前打合せの日程調整は事務局で行うこととなった。

3. 在宅緩和コンフォートセット沖縄版について

笹良委員より、Slackを用いて議論をしていると報告があった。コンフォートセットの形はできているので、今後は沖縄緩和ケア研究会に参加していた薬剤師さんに参加して頂けるよう声かけをするとあった。

4. 次回の在宅ワーキングの開催日程について(ZOOMによるWEB会議)
次回予定の第4回開催日 2024年1月31日(水) 16:30~開催で決定した。
5. その他
特になし。

報告事項

5. 2023年度 緩和ケア研修会開催一覧について
増田委員より、資料6に基づき、今年度の緩和ケア研修会開催の報告があった。
6. 第7回日本GRACE研究年次大会について
笹良委員より、来年3月末の奈良県にて開催されると報告があった。詳細につきましては分かり次第、お知らせするとのことだった。
7. 日本緩和医療学会 第5回および第6回 九州支部学術大会について
笹良委員より、資料7に基づき、報告があった。第5回は鹿児島県で久しぶりの現地開催が行われ、その後、懇親会もあり楽しい雰囲気では学ぶことができたという報告があった。第6回の開催形式は決まっていなかったが同時期に宮崎県で予定しているとのことだった。
8. リレー・フォー・ライフ・ジャパンおきなわ2023について
笹良委員より、資料8に基づき、4年ぶりに浦添てだこ広場で開催されたと報告があった。あいにくの雨でしたが、患者さんたちと交流しながらいろいろなディスカッションやイベントへの参加ができて充実していたとあった。
9. その他
特になし。

以上

令和5年度 第4回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

日 時：令和5年12月6日(水) 16:00～17:15

場 所：琉球大学病院がんセンター(ZOOM 会議)

出席者 8名：笹良剛史(豊見城中央病院)、野里栄治(北部地区医師会病院)、屋良尚美(県立中部病院)、中村清哉(琉大病院)、中島信久(琉大病院)、安次富直美(琉大病院)、水嶋美菜子(沖縄県健康長寿課)、増田昌人(琉大病院)

欠席者 5名：足立源樹(那覇市立病院)、三浦耕子(県立中部病院)、川満博昭(県立宮古病院)、酒井達也(八重山病院)、名嘉真久美(がん患者会連合会)

陪席者 3名：安座間由美子(県立中部病院)、有賀拓郎(琉大病院)、玉城由奈(琉大病院)

報告事項

1. 令和5年度 第3回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

資料1に基づき、令和5年度第3回緩和ケア・在宅医療部会議事要旨の報告があり承認された。

2. 令和5年度 緩和ケア・在宅医療部会、在宅WG、研修WG 委員名簿

資料2に基づき、各委員の名簿について報告があった。

協議事項

1. 令和5年度 緩和ケア・在宅医療部会 委員の選任について

時間の都合上、次回となった。

2. ロジックモデルを用いての今年度の事業計画について

増田委員より、資料3に基づき、個別政策を具体的にどうやって行っていくのかを委員の皆さんで協議して頂きたいとあった。それが次年度の年間計画になるとのことだった。

笹良委員より、この部会で話し合う内容がどういうふうに反映されるか知るために、県より通達があった「第4次沖縄県がん対策推進計画(案)に対する県民意見募集」についての現時点でのスケジュール状況の質問があり、水嶋委員より、担当へ確認し後日報告するとあった。

<https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/iken/r5/gantaisakusuishinkeikaku.html>

【委員の皆さまからのご意見】

- ・スクリーニングおよびモニタリングの体制整備の有無
- ・スクリーニングおよびモニタリングの担当者確定の有無
- ・NSRやSTAS、IPOSのような標準ツールを病院ごとあるいは施設部署ごとに統一したフォーマットでの実施
- ・モニタリングのタイミングや問い合わせ方の整備
- ・スクリーニングやモニタリングについての研修会や教育的な機会の企画
- ・県が施設に不足している人員のためのコストを援助
- ・各施設の専門家の現況調査する
- ・人材育成のための機会が設けられているか
- ・県として専門家の立ち位置を保証する(アフターフォロー等)
- ・登録精神腫瘍医および精神腫瘍専門医の配置の明確化

3. 痛みのスクリーニングとモニタリングデータ抽出について
時間の都合上、次回となった。
4. 次回令和5年度第5回緩和ケア・医療部会の日程について
令和6年3月頃の予定で、がんセンターにてスケジュール調整することとなった。
5. その他
特になし

報告事項

3. 令和5年度 緩和ケア・在宅医療部会 第2回在宅ワーキング 議事要旨
資料4に基づき、令和5年度緩和ケア・在宅医療部会 第2回在宅ワーキング議事要旨の報告があった。
4. 令和5年度 緩和ケア・在宅医療部会 第2回研修ワーキング 議事要旨
資料5に基づき、令和5年度緩和ケア・在宅医療部会 第2回研修ワーキング議事要旨の報告があった。
5. 令和5年度 沖縄県緩和ケア研修会開催日程一覧表
笹良委員より、資料6に基づき、今年度開催予定の施設について報告があった。
6. 令和5年度 緩和ケア研修会の報告書について
時間の都合上、資料7は各自で確認することとなった。
7. 「第3回沖縄緩和ケア研究会学術集会」について
笹良委員より、資料8に基づき、久しぶりに現地開催が行われたと報告があった。多くの施設から参加者が集まり、活発なディスカッションや研究の発表などが行われ非常に良かったとあった。また、ご協力頂いた皆さんへ感謝のお礼があった。
8. 緩和ケアウェブサイト「まじゅん」について
中島委員より、資料9に基づき、2つのコンテンツ紹介があった。
 1. 学べる
隙間時間で学べるよう、1本10分くらいのコンテンツが STAS や IPOS を含め 30 本ほどあり、今後もコンテンツが追加される。資料のダウンロードや印刷も可能。
 2. 相談できる
専門家への相談コーナーで、匿名での相談も可能。困っていることをチャット形式で相談ができる。
以上のことが無料で行えるので、ぜひ LINE のお友達登録をお願いしますとあった。また、相談コーナーにて、専門性の高いことに関しては、県のエキスパートの先生方へ相談しながら回答をするのでその時はお願いしますと、協力依頼があった。
9. 第7回日本 GRACE 研究会年次大会について
時間の都合上、割愛となった。
10. 日本緩和医療学会 第5回および第6回九州地区学術大会について
笹良委員より、資料10に基づき、第5回の開催は鹿児島県で行われ、多くの参加者との活発な意見交換があったと報告があった。第6回は宮崎県で開催されますので、演題提出等のご協力をお願いしますとのことだった。
11. リレー・フォー・ライフ・ジャパンおきなわ 2023 について
笹良委員より、資料11に基づき、4年ぶりに現地開催したと報告があった。あいにくの雨

で一般参加者は少なめだったが、多くのがんサバイバーの方や医療従事者の方が集う、非常に重要な機会だと思うので毎年開催をしていきたい。それには、みなさまのご協力が必要ですのでよろしくお願ひしますとあった。

12. その他

特になし

以上